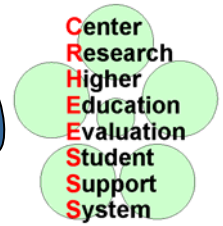


週刊センターニュース No.155



第155号(2007年4月23日)毎週月曜日発行
発行：金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL：http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

第147回共同学習会のご案内

日時：4月26日(木)16時30分～18時

場所：角間キャンパス総合教育棟南棟2階会議室

報告者：早田幸政・西山宣昭・堀井祐介・渡辺達雄

(いずれも大学教育開発・支援センター)

テーマ 「教員組織改革の現状と方向性 - 文科委託アンケート調査の専門分野別分析をてがかりに - 」

趣旨：「教員の職」および「教員組織」に関する関連規定改正にもとづき、本年度4月1日から新たな制度が実施されています。この制度変更を念頭におきつつ、本センターのメンバーが中心になって、平成17年度より2年間先進的の大学改革推進委託事業「今後の『大学像』のあり方に関する調査研究：教員の所属組織」を進めてきました。その中で、調査の一貫として実施したアンケート調査(学部)にもとづき、教員組織改革にかかる現状を専門分野ごとに分析・考察し、改正で生じることが予測される課題等を抽出し、今後の改革方向の糸口を探ろうと試みてきました。

またとくに、分野によって「講座・学科目制」がいかなる意義を有しているのか、大学組織全体との整合性を考慮しながら、有効な方策をどのように展開していくべきか皆さんと一緒に考察していきたいと思ひます。

「平成20年度法人評価」と資源配分問題

国立大学法人に対する法人評価の結果を、次期中期目標・中期計画の内容や、それに基づく運営費交付金等の算定に反映させる観点から、5年周期で評価が行われることとされています。そして、平成20年度が、国立大学法人制度発足から5年の節目を迎えますが、そこで国立大学法人評価委員会が主体となつて行ふのが、この「平成20年度法人評価」です。

「平成20年度法人評価」の仕組みは、かなりややこしいものなのですが、およそ、次のような特徴を備えています。

- ・「中期目標の達成状況に関する評価」は、「中期計画の実施状況の分析」プラス「学部・研究科等の現況調査表の分析」を通じて実施。
- ・「中期目標の達成状況に関する評価」は、大学が作成した「中期目標の達成状況報告書」を基に実施。
「中期計画の実施状況の分析」に当り、「学部・研究科等の現況調査表の分析」も適宜参照。ここでは、とりわけ、中期目標・計画に基づき、「重点的に取組む領域に係る研究業績の分析」の結果が重視される。

- ・「学部・研究科等の現況調査表の分析」は、大学が作成した「学部・研究科等の現況調査表」を基に実施。
- ・「学部・研究科等の現況調査表の分析」は、教育と研究の二つに分けて実施される。
- ・教育と研究の分析は、共に、「水準」と「質の向上度」のセットで行われる。
- ・「水準」の分析は、「改善や向上の結果である現在の状況が、どの水準にあるのかという視点」で行われる。一方、「質の向上度」の分析は、「法人化以降の教育活動、研究活動や成果の状況を示す、具体的な改善事例等の内容」に関する大学の自己分析結果を基に、法人化発足時と比べてどの程度改善・向上したかという視点から行われる。
- ・予め設定された「教育水準分析項目」及び細項目について、大学が自己分析する際には、「在学生・受験生及びその家族、卒業（修了）生、卒業（修了）生の雇用者、当該学部・研究科等と関係のある地域社会」の期待に応えているかという視点からの記述が求められる。
- ・予め設定された「研究水準分析項目」及び細項目について、大学が自己分析する際には、「学術面では関係する学会等、社会、経済、文化面では国際社会や地域、特定の産業分野」の期待に応えているかという視点からの記述が求められる。

冒頭にも示したように、この「平成 20 年度法人評価」は、次期中期計画期間の運営費交付金の配分と直結する極めて重要な意味をもつ外部評価です。昨今の高等教育情勢として、経済財政諮問会議、規制改革会議、教育再生会議などの官邸サイドの審議機関が、運営費交付金の配分方法の見直しを示唆し、一部の委員からは、運営費交付金を競争的資金とするよう主張がなされている中で、「平成 20 年度法人評価」の結果を運営費交付金の配分はどう連動させるかは、依然不透明な状況にあり、今後の行方を注視していく必要があるように思われます。

（文責 評価システム研究部門 早田幸政）

ランチョンセミナー

- 第 8 回 4 月 23 日（月） 高校までとはここが違う - 大学の理系基礎 数学その 2 -
森 祥寛（学生部 ICT 教育推進室）
- 第 2 回ランチョン 24 日（火） 新たなスタートともに『マンドリン』始めてみませんか
コンサート マンドリンクラブ
- 第 9 回 25 日（水） 金沢大学角間の里山自然学校と能登半島里山里海自然学校の取組
中村晃規（角間の里山自然学校研究員）
赤石大輔（能登半島里山里海自然学校研究員）
- 第 10 回 26 日（木） ホケカンとピア - 悩むのも一つの能力です -
鈴木健一（保健管理センター・准教授・カウンセラー）
足立由美（保健管理センター・講師・カウンセラー）
- 第 11 回 27 日（金） あしなが学生募金 - 気軽にボランティアを -
青野 透（大学教育開発・支援センター）